

# 令和7年度 第2回 沖縄県観光振興基金検討委員会

## <参考資料>

令和7年12月25日  
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

## 設置の経緯と目的

- 1 県では、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を図るための取り組みを長期的、安定的に実施するために基金の創設を検討してきた。
- 2 新型コロナウィルス感染症の影響が長期化し、感染状況や観光業界の実情に対応して機動的かつ柔軟に事業を実施する必要があることから令和4年度に設置したもの。

## 基金を活用して実施する事業

- 1 観光旅客の受入れの体制の充実強化
- 2 観光地における環境及び良好な景観の保全
- 3 観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興
- 4 地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進

## 基金活用の基本的な考え方

- 1 既存の事業で充分に対応できない事業への活用
- 2 中長期的に実施する必要のある事業への活用
- 3 機動的、柔軟に実施する必要のある事業への活用

## 基金残高

- 1 令和4年度 40億円基金に積み立てている。
- 2 観光振興基金は取り崩し型基金となっている。
- 3 令和7年5月末現在の基金残高は、約28億円となっている。
- 4 令和7年度末の基金残高見込みは、約12億円となる。
- 5 なお、約12億円の残高のうち、令和8年度の債務負担行為額として10.2億円を設定している。
- 6 令和8年度の債務負担行為を除く残高は約1.8億円となる見込み。

## 令和8年度沖縄県観光振興基金充当事業

### 令和7年9月補正

- 令和7年9月補正予算にて、宿泊税の導入準備に係る2事業を予算措置している（金額は基金充当額のみ）。（単位:千円）

No	事業名	事業概要	予算額	※参考 債務負担 行為額	担当課
1	宿泊税運営体制整備事業	宿泊税導入に向けた県税トータルシステム改修（要件定義）及び特別徴収義務者（宿泊事業者）に対する周知広報等を行うための補正	22,078	48,195	税務課
2	宿泊税導入に向けた宿泊事業者支援等事業	宿泊税導入に伴い、会計システム改修を行う宿泊事業者への支援等を行うための補正	75,967	966,815	観光政策課

※今回の債務負担行為額は、令和7年度から令和8年度にかけて年度を超えて行う契約等を締結するために設定しているもので、実際に支払いが生じる令和8年度予算に改めて計上される。

### 令和8年度当初予算（案）

- 令和8年度観光振興基金充当事業は、上記の2事業の債務負担行為額と令和8年のみ必要となる経費を予算要求する予定となっている。
- 2事業に充当後、残が生じる場合は、令和8年度も実施予定の令和7年度基金事業に充当することを調整中。

## ■ 基金を活用して実施する事業

### 基金を活用して 実施する事業

(沖縄県観光振興基金条例第6条)

#### (第1号) 観光旅客の受入れの体制の充実強化

観光客が快適に観光を満喫できる受入環境の整備や利便性・満足度の向上に資する取組み

- 観光施設等の環境整備（ユニバーサル化等）
- 災害時等の観光危機管理
- 観光二次交通の利用促進
- 観光DXの推進、ICT環境整備（Wi-Fi、キャッシュレス、ビッグデータ活用等）など

#### (第3号) 観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興

独自の伝統文化やスポーツ等のソフトパワーを生かした多彩かつ質の高い観光の推進に資する取組み

- 観光コンテンツの開発（伝統文化・芸能・空手・琉球料理・泡盛・スポーツ）
- 文化芸術の発展を担う人材確保・育成
- 武道ツーリズム、スポーツツーリズムの推進
- 地域資源（伝統文化、プロスポーツ等）を生かしたまちづくり など

#### <基金活用の基本的な考え方>

- ・既存の事業で充分に対応できない事業への活用
- ・中長期的に実施する必要のある事業への活用
- ・機動的、柔軟に実施する必要のある事業への活用

#### (第2号) 観光地における環境及び良好な景観の保全

自然環境・歴史文化の保全、沖縄らしい景観に配慮した観光の推進に資する取組み

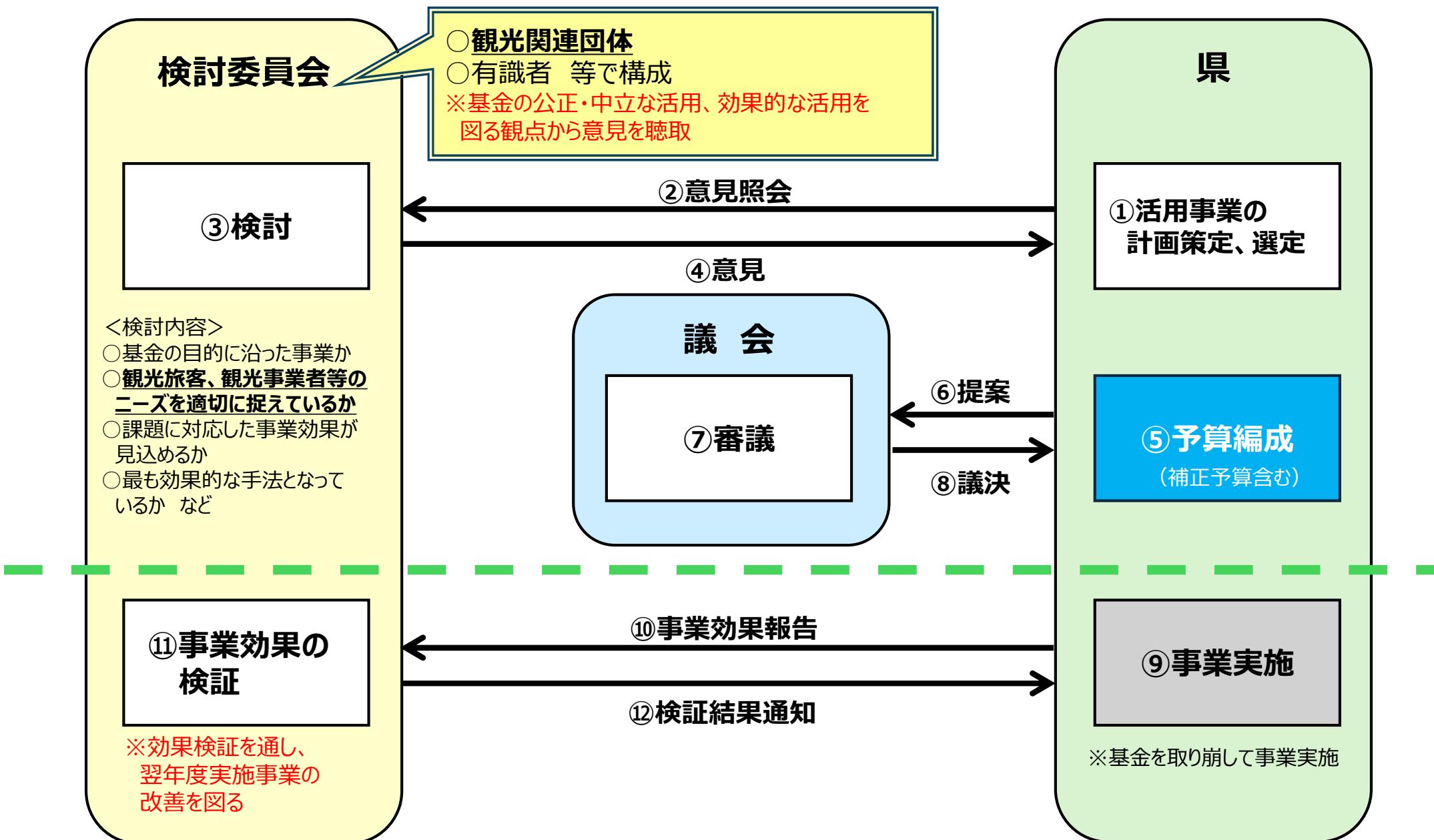
- 観光資源の活用・保全・継承
- 観光地景観形成
- 自然資源の利用ルール作り、周知
- 世界自然遺産等におけるガイド制度の普及、観光客の入域管理 など

#### (第4号) 地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進

地域社会、経済、環境の3つの側面においてバランスのとれた持続可能な観光施策を推進し、世界から選ばれる観光地を形成する取組み

- 観光客集中の緩和（分散化・平準化）
- 観光ルール作り（地域の文化、生活環境を尊重する観光地マネジメント）
- サステナブルツーリズムの推進
- レスポンシブルツーリズムの推進 など

## ■ 基金を活用した事業実施までのプロセス



## 基金検討委員会

- 1 沖縄県観光振興基金を公平かつ公正、効果的な活用を図るため、学識経験者等から意見を聴取する会合として、沖縄県観光振興基金検討委員会を設置している。
- 2 次の事項に関する意見を委員会から聴取することとしている。
  - (1) 沖縄県観光振興基金の活用に関すること。
  - (2) 沖縄県観光振興基金を活用した事業の効果検証に関すること。
  - (3) その他、沖縄県振興基金に関する事項

## 委員名簿

	種別	所属・職名	氏名
1	有識者（観光）	琉球大学国際地域創造学部観光社会学研究室 教授	越智 正樹
2	有識者（環境）	琉球大学名誉教授	伊澤 雅子
3	観光関連団体	旅行業 沖縄JTB株式会社代表取締役社長執行役員	桂原 耕一
4	観光関連団体	観光・施設 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長	亀谷 匡哉
5	その他	文化 (同) 琉球芸能大使館 代表	富田 めぐみ
6	その他	スポーツ 天理大学体育学部 体育学科 天理大学大学院 体育学研究科 教授	平野 貴也